



# りすくみすまいる

さわやかな秋風によってキンモクセイの甘い香りが感じられるこの頃です。木々の葉の色も少しずつ変わり始め、秋の訪れも目に見えてわかるようになってきました。

過ごしやすくなってきたこともあり、毎日よく食べ、たくさん体を動かしながら遊びを楽しんでいる子ども達です。昼夜の気温差が大きい季節でもあるので、健康面には十分に気をつけていきたいと思います。



過ごしやすい気候になり、園庭に行ける機会がたくさん増えてきました。

先月末の鍛錬遠足で近くの広場まで散歩に行ったことをきっかけに、植物や生き物に関心を持つ子が増えてきました。特に生き物は、男の子も女の子も怖がる子が多く遠くから観察を楽しんでいましたが、最近では室内に迷い込むカメムシにも近づき興味津々で観察をしています。園庭に行くと、お兄さんやお姉さんが捕まえた虫を見せてくれるので「こわ〜」「ちっちゃい」など感じたことを言葉にして、子ども同士でやりとりをしている姿がとても可愛らしいです。散歩に行く機会を増やししながら子ども達と一緒に生き物の観察を楽しみたいと思います。



室内遊びでも子ども同士でのやりとりが増え、見立て遊びやごっこ遊びを楽しむ姿が見られるようになってきました。友達の名前を呼んで遊びに誘ったり、「どうぞ」「まーす(いただきます)」などおままごとを通してやりとりをしたり、友達と一緒に遊ぶ事を楽しんでいます。言葉の発達に加え、保育教諭が話している言葉の理解も出来るようになり「手を洗うよ〜」と伝えると腕をまくる仕草をしたり、「からだだんだんするー？」と声を掛けると“うんうん”と頷きCDデッキの前に集まったり、意思を伝えるのも上手になってきました。

## ☆エピソード☆

夏ごろからズボンや靴下など簡単な着脱を自分でできるように促しています。オムツ交換の際やお昼寝時の着替えなど「できる〜？」と声を掛けると、一生懸命にズボンに足を通したり、袖に手を入れたりしながら着替える姿が見られます。最初は上手くいかず怒ったり、泣いたり途中で諦めてしまう子がいましたが、友達がしている姿に刺激を受けて自分で挑戦しようと頑張る子も増えてきました。

着脱の自立は、興味を持つところやタイミングが月齢によっても違ったり、個人差が大きいことから、子どもの成長や気持ちに合わせて進めています。保育教諭に手伝ってもらいながら着替えをしたり、着替えているお友達を見たりする経験から子ども達の”やりたい！”という気持ちを育てていきます。



### ○絵本紹介○

10月は、ハロウィンにちなんでオバケの絵本を読みました。“はやおきおばけ”は夜が苦手なお化けが“めざましオバケ”になり動物たちを起こしに行くという物語です。保育教諭が“めざましや〜”と言うと子ども達が“きゃー！”と叫ぶという掛け合いも楽しみの一つのように、この絵本を用意すると指を差しながら“きゃー！”と始まる前からワクワクしています。また、今月の壁面制作もオバケを作ったので、自分で作ったオバケを眺めながら、この絵本をリクエストしてくれます。



11月から朝のお集りで乾布摩擦が始まります。冬に負けない強い体を作るために、りす組も一緒に参加をしたいと思います。それに合わせてタオルを1枚用意して持って来て頂きますようお願いいたします。タオルは、毎週金曜日に持ち帰りますので、翌週の月曜日に持って来て下さい。

### ○11月の予定○

- 1日 乾布摩擦開始
- 10日 焼きいも大会
- 20日 身体測定
- 30日 お誕生会